

# 体育科 授業改善推進プラン

## 1 体力測定結果（令和7年度実施）

- ・【全校】立ち幅跳び（瞬発力）、反復横跳び（敏捷性）が全国平均値との数値差が大きい。高学年になると、より全国平均値との数値の開きが大きくなっている傾向がある。  
長座体前屈（柔軟性）は全学年、全国平均値を上回っている。ボール投げ（投力）の数値差は小さくなってきている。
- ・【第1・2学年の課題】1年生は男女ともに立ち幅跳びの全国平均値との数値差が大きい。2年生は男女ともに立ち幅跳び、反復横跳びの全国平均値との数値差が大きい。
- ・【第3・4学年の課題】3年生は男女ともに立ち幅跳び、反復横跳びの全国平均値との数値差が大きい。4年生は男女ともに立ち幅跳び、反復横跳びの全国平均値との数値差が大きい。
- ・【第5・6学年の課題】5年生は男女ともに立ち幅跳び、反復横跳びの全国平均値との数値差が大きい。6年生では男女ともに立ち幅跳び、反復横跳びの全国平均値との数値差が大きい。

## 2 児童の実態（課題）

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に活動に取り組む児童が多い。</li> <li>・リレー遊びでは、チームごとに順番を入れ替える、走り方を考えるなど工夫をして行うことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に活動に取り組もうとする児童が多く、運動習慣も定着している。</li> <li>・友達のよい動きを見て真似ようとする児童は多いが、再現する技能力は低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に学習に取り組む児童が多く、休み時間も積極的に身体を動かす児童が多い。</li> <li>・経験の差もあり、習得している技能に差が見られる。</li> <li>・活動を振り返り、次に生かそうとする意識が十分ではない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に学習に取り組む児童が多く、休み時間も積極的に身体を動かす児童が多い。</li> <li>・体幹や筋力の不足により、マット運動をはじめとした器械運動の技能が十分に習得できていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習面では、意欲的に学習に参加する児童が多い。</li> <li>・休み時間はすすんで体を動かす児童とそうではない児童の差がある。</li> <li>・様々な運動面で習得している技能についての個人差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に学習に参加する児童が多く、休み時間も積極的に体を動かす児童が多い。</li> <li>・技能の習得方法に工夫が少なく、技能の向上ができていない。</li> <li>・複数の動きを組み合わせた運動では、体や用具を操作することに難しさがある。</li> </ul>

## 3 課題や授業の改善策

	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場の設定を工夫したり、運動する場を増やしたりすることで、それぞれの運動の基礎的な動きを身に付けられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な動きを身に付ける活動を通して、体の使い方を知ることや体力向上に繋げる。</li> <li>・集団での活動や競い合う楽しさを共有し、仲良く楽しく運動する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種の運動の基本となる様々な動きや技能を身に付けられるように、互いに協力し合い運動の楽しさや体を動かす喜びに触れる。</li> <li>・タブレットを活用して、自分の動きを客観視することで、身に付けていた知識の根拠を明確にし、理解に繋げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種の運動の基本となる様々な動きや技能を身に付けられるように、互いに協力し合い運動の楽しさや体を動かす喜びに触れる。</li> <li>・用具の正しい使い方を理解させ、場や用具の安全に留意して運動できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の取組や動きを認める雰囲気づくりをすることで運動の楽しさや喜びを味わい、各種の運動の基本となる様々な動きや技能を身に付けられるようにする。</li> <li>・用具の正しい使い方を理解させ、場や用具の安全に留意して運動できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の取組や動きを認める雰囲気づくりをすることで運動の楽しさや喜びを味わい、各種の運動の基本となる様々な動きや技能を身に付けられるようにする。</li> <li>・用具の正しい使い方を理解させ、場や用具の安全に留意して運動できるようにする。</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動きのポイントを捉えて取り組む児童を称賛し、児童とともに動きのポイントを見付けたり、全体で共有したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動遊びをする中で、運動の楽しさに触れながら、練習の仕方を工夫したり、選択したりすることができるようにする。</li> <li>・グループ活動を通して、互いの動きを見て、考えたことを友達に伝える時間を確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カードを用いて振り返りを行うことで、自分の思考を整理できるようにする。</li> <li>・児童同士がお互いの動き良い点や動きのコツを見つけ、伝え合う時間を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの運動の課題に気付けられるよう、互いに協力し合いアドバイスをしあう場を設ける。</li> <li>・課題解決のための方法を客観的に考え、解決できる方法を考えられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カードを効果的に活用できるように、自己の課題を明確にし、振り返りの時間を確保する。</li> <li>・学習課題に対して解決するための思考ができるような環境作りを授業の中で整えていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の始めに試しの活動を行い、自分やグループの課題を捉えさせる。</li> <li>・友達と助言し合える場を設け、体の動かし方や作戦を確認し具体案を考えられる場の工夫を行う。</li> </ul>
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで活動する時間を作り、友達の良いところや改善点を見付けてコミュニケーションを取ることで、交流する場を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団で取り組める遊びを工夫し、順番やきまりを守って安全に運動できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の楽しさやできた喜びを共有し、意欲を引き出す。</li> <li>・友達と相談しながら工夫する場面を設定し、自発性を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・励ましや認めあえるような言葉かけが自然と出てくるような雰囲気づくりを行い、継続して積極的に取り組めるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己肯定感を高められるような励ましの声掛けをする雰囲気づくりをすることで、最後まで努力して運動できるようにする。</li> <li>・児童一人ひとりの課題にあった声掛けや課題に対して協働的に解決する活動を通して、「できる」「分かる」楽しさを味わわせられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手を認めたり賞賛したりする声掛けを掛け合う雰囲気をつくることで決まりを守り、誰とでも仲良く運動できるようにする。</li> <li>・励ましの声掛けをする雰囲気づくりをすることで、粘り強く取り組む力、運動に取り組む態度を養う。</li> </ul>

※重視する内容は、網掛けで強調する。